

## 「公立図書館の振興・発展に関する政策」についての公開質問状回答

政党名：社会民主党

記入者：政策審議会 松本 貴裕

(1)

地域住民が気軽に書籍等を直接手に取り文化や芸術に触れることのできる市町村の図書館。規模が大きく郷土の資料保存・研究に取り組み都道府県の図書館。日本最大規模の国立図書館。それぞれの公立図書館が公的な役割として、住民、国民の要求を満たし、さらに、民度、文化度の向上に資するような政策を展開していくことが重要だと考えます。そのためには、先進諸国の中でも低い文化予算の増額が必要です。各自治体における公立図書館の意義を確認し、図書館予算の確保を求めています。

(2)

指定管理者制度や、業務委託等民営化は、「図書館の市場化」であり、図書館を企業が収益をあげる場所にしていく制度です。実際に導入した図書館にて、司書の専門性の蓄積、郷土資料などの蔵書管理、利用者の個人情報保障などが危うくなっています。図書館の民営化は慎重に対応すべきです。

(3)

本決議は、3分の2を越える図書館職員の非正規雇用や低賃金などの待遇改善、誰もが図書館を利用できる環境整備などを求めており、重要な決議です。本決議を尊重し、その実現に努めてまいります。